

平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業及び研究協議会の報告書

市町村名	枚方市
実践研究校名	開成小学校

【公開授業】公開日：平成25年10月11日（金）

対象学年：6年生

（教材・教科書名） Hi, friends! 2 （单元名） Lesson4 道案内をしよう	（本時の指導の目標） ・建物の名前や道案内の表現を使って、積極的に相手に英語で伝えたり、言っていることを理解したりする。
---	---

（本時の授業において工夫した点）

- ・体を使って道案内をするために、多目的室で授業を展開した。
- ・メインアクティビティの説明を英語で行った。
- ・道案内ができるように多目的室に机などを配置し、障害物を作った。

（授業後を終えた教員の感想）

- ・児童は楽しみながら活動ができていた。
- ・メインアクティビティの説明を英語で行ったが、書画カメラも使用したため、理解できていたようだ。
- ・説明に時間がかかりすぎたので、言葉を厳選するなど工夫が必要だった。

【研究協議会】

（テーマ） より良い外国語活動の指導と評価:道案内を題材にして	（指導・助言者） 京都教育大学 泉 恵美子 教授
------------------------------------	--------------------------------

（研究協議会で出された意見）

- ・今回の授業は、いきいきとした児童の姿が印象的であった。
- ・今後の英語教育について新しい情報を得ることができ有意義であった。
- ・子どもたちは、もっと英語を使いたい、話したいと思っている。アクティブな活動を取り入れることがより有効ではないか。
- ・多目的室を児童が実際に歩きながら道案内するなど、楽しんで取り組むための工夫があった。

（まとめ）

1. 意味を中心としたコミュニケーション活動を行い、成功体験を積ませることが大切である。今回の授業では、道案内の場面を設定し、そこで必然性のある英語表現を実際に用いることで、意味を中心としたコミュニケーション活動になる。
2. 児童の発達段階にあった知的好奇心をくすぐる教材や活動を研究していくことが大切である。
3. 児童の有能感を高めるために、コミュニケーション活動の場面での評価が大切である。